

令和3年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	農業情報処理	単位数	2	履修学年・クラス	2B
担当者	使用教材		農業情報処理 新訂版(実教出版)				
学習目標	○社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させる。 ○情報に関する知識と技術を習得させる。 ○農業情報および環境情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。						
学習方法	○講義では情報が身近な生活や森林・環境の分野でどのように利用されているか学ぶ。 ○実技では情報活用への関心を高め、アプリケーションソフトによるコンピュータ操作の技能習得を図る。 ○情報利用への意欲を高めるため、目標を設定した資格・検定への取り組みを図る。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	情報を収集、処理および活用することに関心をもち、その習得を目指して意欲的に取り組むとともに実践的な態度を身につけている。				
	思	思考・判断・表現	基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。				
	技	技能	基礎的な技能を身につけ、課題を合理的に計画し適切に処理する力を身につけている。				
	知	知識・理解	指導内容に関する基礎的な知識を身につけ、情報の意義や役割を理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
前期中間	1 コンピュータによる情報の活用	表計算ソフトウェアの基本操作 情報化社会のモラル	○	○	○	○	[関]表計算ソフトウェアの入力操作に関心をもち、課題の入力に積極的に取り組んでいる。 [思]課題解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]課題について適切な構成を考え、技術を活用した入力ができる。 [知]入力に関する知識を身に付け、課題に応じた活用をすることができる。	・授業観察 ・レポート ・考査
	2 コンピュータによる情報の活用	ワープロソフトウェアの応用操作 情報化社会のセキュリティ	○	○	○	○	[関]ワープロソフトウェアの入力操作に関心をもち、課題の入力に積極的に取り組んでいる。 [思]課題解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]課題について適切な構成を考え、技術を活用した入力ができる。 [知]入力に関する知識を身に付け、課題に応じた活用をすることができる。	・授業観察 ・レポート ・考査
後期中間	3 コンピュータによる情報の活用	プレゼンテーションソフトウェアの基本操作 インターネットによる情報検索	○	○	○	○	[関]プレゼンテーションソフトの入力操作に関心をもち、課題の入力に積極的に取り組んでいる。 [思]課題解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]課題について適切な構成を考え、技術を活用した入力ができる。 [知]入力に関する知識を身に付け、課題に応じた活用をすることができる。	・授業観察 ・レポート ・考査
後期末	4 森林・環境情報の活用	地理情報システム(GIS)について 森林のもつ二酸化炭素の吸収能力を算出する方法を学ぶ。	○	○	○	○	[関]森林・環境情報の収集に取り組み、探求しようとしている。 [思]課題解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を基に合理的に判断している。 [技]課題について適切な構成を考え、技術を活用した入力ができる。 [知]入力に関する知識を身に付け、課題に応じた活用をすることができる。	・授業観察 ・レポート ・考査